

職業訓練指導員試験「指導技法」出題例

【職業訓練原理】

例題1 職業訓練の種類に関する表中（イ）から（ハ）内に入る語句の組み合わせとして、次のうち正しいもの1つを選びなさい。

職業訓練の種類	訓練課程	訓練の概要	訓練期間及び総訓練時間
普通職業訓練	（イ）	中卒者又は高卒者等に対して、将来多様な技能・知識を有する労働者となるために必要な基礎的な技能・知識を習得させるための長期間の課程	高卒者等1年 総訓練時間（ロ）時間以上 中卒者等2年 総訓練時間 2,800 時間以上かつ、1年につき概ね1,400時間
	短期課程	在職労働者、離転職者等に対して、職業に必要な技能(高度の技能を除く)・知識を習得させるための短期間の課程	6月以下総訓練時間（ハ）時間以上 (ただし、管理監督者コースにあつては、10時間以上)

	（イ）	（ロ）	（ハ）
（1）	専門課程	1,600	18
（2）	長期課程	1,400	18
（3）	普通課程	1,600	18
（4）	長期課程	1,400	12
（5）	普通課程	1,400	12

正解：（5）

【教科指導方法】

例題2 感覚運動系技能を伝えるコツとして、次の(イ)から(ニ)の4つの段階を順に経ることが有効である。その順序として正しいもの1つを選びなさい。

- (イ) 要素行動の適正基準確立
- (ロ) 要素行動の抽出
- (ハ) 確立した作業の安定化
- (ニ) 各要素行動の複合化とバランス保持

(1)	(ロ) → (イ) → (ニ) → (ハ)
(2)	(イ) → (ロ) → (ハ) → (ニ)
(3)	(ロ) → (イ) → (ハ) → (ニ)
(4)	(イ) → (ロ) → (ニ) → (ハ)
(5)	(ロ) → (ニ) → (イ) → (ハ)

正解：(1)

【訓練生の心理】

例題3 技能習得の心理において「練習における上達と停滞」について、次のうち誤っているもの1つを選びなさい。

- (1) 技能は、人間の先天的能力ではなく、後天的に練習を重ねることにより、身につけた能力である。
- (2) 漠然とした練習を重ねることで効果が上がる場合もあるが、一向に上達しない場合もある。
- (3) 技能が未熟の段階にある間は、容易に改善される点は少なく、上達に時間がかかる。
- (4) 作業が難しくなると、反復しても大した効果の現われないこともある。
- (5) 上達して技能の水準が高くなってくると、反復ごとに効果を高めるような動きができにくくなるので、練習効果は減退する。

正解：(3)